私は素人なので、カルテを見ても、何のことかはわかりませんし、後から書かれているような、先生の達筆の字も何を書いているか読めないので、わかりません。

ただ、開示カルテには先生との会話や不都合のことが、一切書かれていないように思われます。カルテとはそういうものなのかもしれませんが、このカルテだけでの判断だけでは、どうかしていただきたくはない思いです。

弁護士の先生方には、私側からの6年間の詳細も少しでもわかっていただきたいと思いました。（覚えている範囲になりますが・・・）

何故なら最初にＡＤＲとは相手が、応じるか、応じないかは相手次第で相手を怒らせない方が良いとお聞きしました。最初の書類では相手も見るとのことでしたので、詳しく書いていないこともありました。

11年2月から虫歯の治療をしていただき、全く問題もなく治療に満足しておりました。

そして、問題の右上５・６・７をセットしてからは、虫歯治療もほとんど終わっていたので、

12年12月ぐらいから17年3月までの約5年間は、毎回咬合紙を使って歯を削る、（その咬合紙も全体を見る咬合紙ではなく、今私が痛いところだけにあてて、そこだけを削る）そして同時に掃除。の繰り返しの5年間が

ちゃんとカルテに記載されているのか不安に思っております。

カルテを見ても良く分からないのですが、「研磨」とだけ書かれていたりするのと、字が読めないので、よくわかりませんが、弁護士の先生方にわかっていただきたいのは、5年間はほとんど虫歯治療をしていないと思います。毎回毎回咬合紙を使って歯を削っていただけです。右側が低くなると、当然左側が高くなり削り、両方が低くなる前歯が強く当たり痛い。そこをまた削る繰り返しです。

5年間虫歯でもないところを、毎回歯を削る治療が正しかったのでしょうか？ 5年間28個の歯を削り続けて、太田先生がいう、今西村さんが起きている症状は、治療する前からと言えるのでしょうか？歯医者さんは、28個全ての歯を削りに削って、昔から、歯ぎしりがあるとかという言い訳が通用するものなのでしょうか？

どうしても、納得がいかないのです。

6年間、治療し続けて、もし、私が昔から歯ぎしり等があるのであれば、最初に医者として５年間削り続けること以外の選択治療は出来なかったのでしょうか？　何故、削り続けたのか？

何故、6年間も治療をして、28本全部いじり回して、今になってふみきり歯科が原因ではない！といえるのか？

だとしたら、西村さんは歯ぎしりがあるから、治療できませんと、初期の段階で辞めて欲しかったです。

「必ず落ち着くところがあるから、頑張っていきましょう！絶対このまま続けた方が良い！咬み合わせが合っていないと、将来歯が無くなる！」など、不安になることも言ってきておいて、最後に「今の症状はふみきり歯科が原因ではない！」ってことが、歯医者が保険を使うことになり代理人の弁護士さん入ると、このようなことが、当たり前のように通用してしまうのでしょうか？

歯医者に行く患者さんのほとんどが、歯にトラブルを抱えた患者さんだと思います。歯ぎしり・噛み合わせ・歯並び・歯槽膿漏・歯周病・入れ歯・インプラントなど、最初にそのような、説明もなく、削り続けて、最後にそんな言い訳通用する歯医者に、私は凄く悔しいです。

もう一度、簡単ですが、先生側の都合の良いカルテではなく、患者側に内容も確認していただけないでしょうか？

6年間の治療日

【2011年】

2月4日 　虫歯治療の通院が始まったと思います

2月14日

2月22日

3月1日

3月11日

3月18日

4月4日

4月15日

4月22日

5月2日

5月13日

5月23日

5月30日

6月6日

6月20日

6月27日

7月5日

7月12日

7月25日

8月1日

8月9日　　　この辺りまでは、何の問題もなくスムーズに虫歯治療をしていただいておりました。

8月22日

8月29日　　　　確かではないですが、ふみきり歯科に通って1年経った、このあたりから噛み合わせ調整での通院が始まったと思います。

右上奥３本をセット同時治療で銀歯をセットしたのは、この辺りだったのではないこと思います。3本を同時に着けた夜から、痛みが始まりました。咬み合わせが、合っていない痛い。ちゃんと噛めない。

9月6日

9月13日

9月13日

9月26日

10月3日

10月17日

10月24日

11月1日

11月8日

11月18日

11月22日

12月5日　　確かではないですが、右上５・６・７に咬み合わせに少し違和感が残ったまま、先生の勧めで、お正月前に3番目の歯が少し欠けているので、お正月前にセラミック（自費）を勧められ、交換しました。（元々、自費のセラミックの歯でした）

ただ、問題はこの右上3番目がセットした瞬間から、全く合っておらず、下の3番目の歯に強く当たって痛い！先生には折角のセラミックが割れてしまいそうなぐらい強く当たって痛いと伝え削って調整していただきました。ただ、今度は今まで関係のなかった4番目も強くぶつかるようになり、3番を削ると4番が痛くなり、4番を削ると、両隣の3番・5番が痛くなったりで、右下の4番が痛くなったり、それを右下の３・４・５・６・７・８・でも削って調整をするようになりました。右側は上も下も、どんどん削り、暫くすると、折角入れた3番目のセラミックスの歯は裏側も白いセラミックスでしたが、セラミック部分は削り過ぎて、金属が出て、どんどん短く小さい歯になってしまいました。（画像で確認してください）

今思うと3番目の歯も一度仮止めにしていただいて、様子をみて欲しかったです。

もしかすると衛生士さんなのか？助手なのか？わかりませんが、歯の型どりと、歯のセットはいつも女の子がするので、それが原因の１つだったのかもしれません。

間違いなく言えることは、今まで経験したことのない、右側上の３・４・５・６・７が下の（ブリッジを入れると）３・４・５・６・７・８の噛み合わせが、全く合わなくなり、上の歯と下の歯が上手くかみあわなくなり、夜身体を横にすると、身体が起きている時と違って、顎の位置が変わるので、咬み合わせが、全く合っていないことが実感されて、歯茎がういたような痛み、強く当たるところは、強い痛み、中には歯が横にスライド出来なくなり折れてしまいそうなぐらい強く当たって眠れない時も多々ありました。

それも、毎回先生に言うと、強く当たってスライド出来ない歯を削り落とすという、治療の繰り返しでした。

ここから、ブリッジを入れると全部で28本の歯を、5年間をかけて、最初は毎週、削っていくことになります。虫歯の治療はほとんどしていません。

12月13日　咬合調整で歯を削る　　　　もう右側が上下削ってので、崩壊してしまっていて低くなってしまっているため、徐々に左側に強い痛みが始まる。当然奥歯が低くなったので前も5年間で少しずつ小さくなる。

12月26日　咬合調整で歯を削る

【2012年】

1月16日　咬合調整で歯を削る

1月23日　咬合調整で歯を削る

1月31日　咬合調整で歯を削る

2月7日　　咬合調整で歯を削る

2月21日　咬合調整で歯を削る

2月27日　咬合調整で歯を削る

3月6日　咬合調整で歯を削る

3月19日　咬合調整で歯を削る

3月26日　咬合調整で歯を削る　この辺りに先生に勧められて、夜マウスピースを始めました。

　　　　　　　　　　　　　　　　ただ、この後も歯を削り続けるので、マウスピースは合わなくなりガバガバになる。

4月3日　咬合調整で歯を削る

4月23日　咬合調整で歯を削る

5月14日　咬合調整で歯を削る

6月5日　咬合調整で歯を削る

6月22日　咬合調整で歯を削る

7月23日　咬合調整で歯を削る

8月27日　咬合調整で歯を削る

10月2日　咬合調整で歯を削る

11月26日　咬合調整で歯を削る

12月25日　咬合調整で歯を削る

　　　　　　　　　　　　　　　　　先生はいつも、いつか落ち着くところがあるから、頑張っていきましょう！

　　　　　　　　　　　　　　　　　咬み合わせをちゃんとしておかないと、将来歯が無くなる原因の１つなので、

　　　　　　　　　　　　　　　　　頑張っていきましょう！違和感がなくなるまで、絶対やった方が良い！と

　　　　　　　　　　　　　　　　　言われ続けて、先生を信じて頑張って治療をしていました。

【2013年】

2月12日　咬合調整で歯を削る

3月12日　咬合調整で歯を削る

4月8日　咬合調整で歯を削る

5月14日　咬合調整で歯を削る

6月17日　咬合調整で歯を削る

7月16日　咬合調整で歯を削る

8月9日　咬合調整で歯を削る

9月10日　咬合調整で歯を削る

10月8日　咬合調整で歯を削る

11月12日　咬合調整で歯を削る

12月16日　咬合調整で歯を削る

【2014年】

1月？日　咬合調整で歯を削る

2月？日　咬合調整で歯を削る

3月？日　咬合調整で歯を削る

4月？日　咬合調整で歯を削る

5月？日　咬合調整で歯を削る

6月？日　咬合調整で歯を削る

7月？日　咬合調整で歯を削る

8月？日　咬合調整で歯を削る

9月？日　咬合調整で歯を削る

10月？日　咬合調整で歯を削る

11月？日　咬合調整で歯を削る

12月？日　咬合調整で歯を削る

【2015年】

1月？日　咬合調整で歯を削る

2月？日　咬合調整で歯を削る

3月？日　咬合調整で歯を削る

4月？日　咬合調整で歯を削る

5月？日　咬合調整で歯を削る

6月？日　咬合調整で歯を削る

7月？日　咬合調整で歯を削る

8月？日　咬合調整で歯を削る

9月？日　咬合調整で歯を削る

10月？日　咬合調整で歯を削る

11月？日　咬合調整で歯を削る

12月？日　咬合調整で歯を削る

【2016年】　　　　　　　　　　　この辺りで先生が言うことが変わってきました。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　顎が下がってきているのに先生も気づき始めたのか、「西村さんは咬みが深いから出歯です。テニスの錦織圭と同じで前歯で下の歯が見えなくなっている！」

　　　　　　　　　　　　　　　　　それは違いました。先生が5年間で毎回削り続けた結果です。

1月19日　咬合調整で歯を削る

2月15日　咬合調整で歯を削る

3月29日　咬合調整で歯を削る

4月26日　咬合調整で歯を削る

5月30日　咬合調整で歯を削る

7月11日　咬合調整で歯を削る

8月22日　咬合調整で歯を削る

9月26日　咬合調整で歯を削る　　この辺りだったかは確かではないのですが、右上4番目を削りすぎて、歯の高さが無くなり、下の歯が、右上の歯茎に刺さるようになり歯茎が痛い。

　　　　　　　　　　　　　　　　　先生に伝えるが、これを下歯で削る。下の歯も神経がある歯なので、かなり削って、もう触れると痛い！

　　　　　　　　　　　　　　　　　先生に言うが、「もうやるしかない！だって、そこが痛いんでしょ？いつものように、ちょっとだけ！ちょっとだけ！といって虫歯でもない、かぶせ物でもない、下の自分の神経の残っている前歯を5年間で削り続けた結果、凄く小さい歯になり、凸凹になり、歯の中の象牙質も出て黒くなってしまいました。

　　　　　　　　　　　　　　　　　ここまで来るまでに、私は、もう前歯は小さくなってしまっていて、神経に触れるような痛みも出ているので、「もうやめて！」と何度も言っています。

　　　　　　　　　　　　　　　　　そうすると先生は、「じゃあ！上の歯で！」と言って上を削ります。しかし、何年もこのやり取りで、どんどんまた下の前歯を「ちょっとだけ！ちょっとだけだから！」と強く当たっているところを削る繰り返しです。この繰り返しを5年間で28本です。

10月24日　咬合調整で歯を削る

11月21日　咬合調整で歯を削る

12月19日　咬合調整で歯を削る

【2017年】　　　　　　　　　　　　　この辺りで、私の歯が小さく過ぎなり、右上4番目の高さが全く無くなったせいで下の歯が歯茎に刺さる状態でした。それでも一向に良くなりません。ここまでやって、初めて太田先生は「また１から全部やり直して高くするしかないかなー。総取り換えにしないとダメかなー」と言いました。何故もっと早くそれを言ってくれなかったのか！

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　毎回5年間削るだけ削っての治療をしてきて、ここにきてそれは酷い！

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　どうして、途中で右側上をやり直しできませんか？と言ったときに、先生は「イヤそれはできない。」やり直してくれていれば、こんなことにはならなかった。

1月23.日　咬合調整で歯を削る

2月20日　咬合調整で歯を削る

3月21日　ふみきり歯科には行かなくなる

【東京のI歯科】

10年以上ほど前に私の歯を診ていただいていたことのある昔から知人の東京のI歯科のI先生に事情を

話し歯を診ていただきました。「まず、西村さん以前より出歯になっているよ！

俺が治した歯が全部削られてしまっているし！セラミックの歯も自分の歯も滅茶苦茶に削られている！

奥歯を削りすぎて、低くなり、前歯が当たっている。

その時点で奥歯を高く戻して入れば良かったのだが、前歯を削ってしまったため

当然今度は今まで当たらなかった左側や全部がおかしくなっている。

歳を取って奥歯がすり減り前歯を少しだけ調整することはあるが、これはまずい！

下の顎が後ろに下がってしまっている。「顎が下がって前より出歯になっていて

舌の歯が歯ではなく歯茎に当るのは当然、お年寄りで下の歯だけ残って

上の歯がない人と同じ」「ちゃんと治さないと、これから大変なことになる、このまま歯に負担をかけて

もし使っていると、当然骨が駄目になって、歯が全部なくなると言われた。

ただ相当な費用がかかる」「訴えたほうがいいよ！」と言われました。

【4月？日　鶴見のK歯科】　職場から1分

「これはやりすぎたね！」「ここで治療できるが、治るか、治らないかはやってみないとわからない。

奥歯をまず仮歯にしてジルコニアにしていく！」「ただ、相当大変であなたは逃げ出すかもしれない！」

「とにかく、この治療はもうやめたほうが良い！もう行かないほうがいい」と言われました。

【4月？日　厚木のD歯科】家から近い

自宅の近くで、評判だった歯医者をインターネットで調べ、治療できそうだったので電話して、症状を話すと

「咬合崩壊は難しいから、ここでは治せない！他を探してください」と電話で断られる。

【4月4日　鶴見のS歯科】職場から3分ぐらい

恥ずかしかったのですが、知り合いの歯科衛生士に今の状況を話し治していただける腕の良い医者を

紹介してほしいとお願いしたところ、こちらのS歯科を紹介していただき、診ていただきました。

事情を話し歯を見ていただくと「ここへ来たのは間違いだよ！これは私には治せない！

すぐに大学病院の口腔外科とかにいった方が良い」と言われました。

【4月７日　神奈川歯科大学病院】横浜医院は家と職場の途中にある

もう深刻な状態なのが分かったので、神奈川歯科大学病院の横浜医院に電話して相談

神奈川歯科大学の横須賀医院なら咬合専門の先生がいるということで、咬合専門の先生に見ていただきました。

診断結果は顎関節症でした。奥歯が低くなってしまい、下顎が下がってしまっています。

いじくりすぎて治療の方法としては、元の歯の高さに戻ししかない！

奥歯から仮歯にして、どんどん高くしていくしかない！「先生お願いします！」何度もいうが

厚木から通うのは不可能だと言われる！虫歯治療と違い、誰もあなたの元の歯の高さがわからないから

相当な時間と苦痛な長い期間がかかる！しかも、奥歯だけではない！あなたの歯は全部削ってあるから

全ての歯をやり直しで高くする必要がある！奥歯を高くすると、これだけたくさん削っていると

他の歯が全部歯と歯が当たらなくなる！前歯では物が当然噛めなくなる！

あなたの歯は全部かぶせ物にして高くする！ブリッジの所は入れ歯かインプラントにと言われました！

前歯はその場で出来る白いプラスチックを塗るやつでできないですか？と尋ねると、これだけ削ってあると

出来るはずがない！もし頑張って着けても、すぐに取れるだけだから、高さを合わせるために全部かぶせ物にします！

と言われました！ただ、この治療が厚木から2時間、往復4時間かけて来て、出来るものではない！

途中であなたが耐えられない！と断られる！それでも頑張って通いますから！と先生に言うが

往復4時間を毎週来てもいつ終わるかわからないし、苦痛な状態が続くので、途中に何があるかわからないから

何かあった時すぐに診てくれる、自宅の近くか、職場の近くで

治療でしてくれる医者を探した方がいいと断られました！

確かにふみきり歯科で調整している時も、調整した時は良くなった気がして、歯医者を出た後痛くなったり

物を食べたら食べられないぐらい痛くなったり、夜横になると痛くて、ロキソニンをよくのみ

次の日に電話してその痛い歯を調整していただくことは多々ありましたので、大学病院の先生に言われたとおり

遠いと、すぐに診ていただけないので不安を感じ、もう一度、自宅か職場の近くで、

私の歯の高さを治療していただける歯医者を探すことにしました。

【4月11日　鶴見のW歯科】職場から3分

4月21日　初診　このままだといずれ前歯も全部駄目になると説明をうける。

夜横になると顎の位置が変わるので前歯6本が痛い状態が何年も続いている。寝不足

4月25日　右側から仮歯にして高くして、左側は全て浮かした状態にしていくと説明がある。

まずは右側だけ

右上５・６・７の3本を仮歯に

右下はブリッジだったので４・５・６・７・８を仮歯していくという治療がはじまる。

右側だけ高く左側が全く当たっていないので、キツイ治療が始まる。

仮歯は自費

右上６４８０円　合わず

やり直し　上６４８０円　下６４８０円やり直し　　　　合計１９４４０円

4月30日　右上奥3本を仮歯にした。当然左側は全て浮いている状態が始まる。正直キツイ状態。しかし我慢。

【7月25日　川崎の歯科】

引き続き

右側上の５・６・７

右側下４・５・６・７・８の仮歯治療を続ける。

先生も技工士さんも元の高さがわからないので、難しいとのこと

5月6日 仮歯が全く合わず一番奥歯激痛、高すぎて歯が痛い。話ができない。話しづらい。

毎日ロキソニンを服用。　調整。

5月15日　仮歯のやり直し。右上奥歯3本の仮歯のやり直し。今回下の5本も仮歯にすると説明うける。

5月23日　調整。話しづらい。舌をよく噛むようになり、舌が痛い。

5月26日　高さが合わず、奥歯が激痛。急患で診てもらう。ロキソニンを多めに頂く。

5月29日　調整。

6月6日　 調整。

6月12日　調整。

6月19日　調整。

6月26日　調整。

7月4日　 右下奥5本仮歯を外して、銀歯で作ることになる。

7月11日 銀歯を装着するも、低いのが出来てきてしまい全く合わず。左側の浮きがなくなる。やり直し。

7月25日　また、右下5本仮歯を作る。　またふりだし。右上3本・右下5本仮歯状態。

　　　　　仮歯１６２００円

8月1日　 調整。少し高さ落ち着いてくる。左側は浮いている。

しかし当然、横になると左右高さが違うので、前歯が痛い。

8月9日　 右側の上・下の仮歯が安定しきている。左側も浮いていて少し明るい光が見えてきた。

今度は上の奥から仮歯を外し、銀歯2本入れる。いい感じ。前歯の間・左側の浮きぐわい、良い感じ。

8月15日　落ち着いている。

8月29日　落ち着いている。

9月5日　落ち着いているので、もう1本残っている上の仮歯（奥から3番目）を銀歯にすることになる。新しい歯が届くまで、奥歯1本で口の中を支えているので、ここから2週間の激痛地獄が始まる。とにかく一番奥の上・下が痛くて食事ができない。何より、右の顎が痛くて、寝れない。また、ロキソニンの2週間の服用。胃が痛い。かなり精神的にもキツイ。苦しい。でも新しい歯が届くまで我慢。

9月19日　 2週間苦しんだので、やっと楽しみにしていた歯を取り付けることに。しかし取り付ける前に先生が、「技工士が全然噛んでいる位置がわからない」とのことで作ってくる。嫌な予感が。やはり全く合わない。しかし、仮止めにして軽く調整して、このまま取り付けて帰る。高い分、奥歯の痛みは消える。しかし右顎の痛みが取れない。食事もロキソニンを飲んでから、食べる。

10月10日　セラミック９７２００円　　結局技工士のミスのようで、取り付け出来ず。

10月24日　先週取り付けた歯が全然合っていないので調整していただく。その時安定していた奥歯も調整してしまう。奥歯が低くなって、顎の痛みは消える。しかし前歯が遠くなっていることを先生に伝える。

10月31日　前歯が遠くなったのを近づけてもらう調整をする

11月7日　先生に現状を話し調整していただく。しかし、治療が終わって待合で待っている時に、また、奥歯を調整して低くなり過ぎて、前歯が当たるようになったのに気がつく。左側は浮いていなければいけないのだが、もう浮いていない。当たっている。

　　　　　　家に帰って確かめるも、また半年前の高さになっていて、顎が下がって、出っ歯に戻ってしまって前歯が当たるようになっている。（ふみきり歯科の最後の状態と同じ高さに戻ってしまった）

　　　　　　すぐに歯医者に電話をして、明日診ていただくことになる。

11月8日　　ここ２～3週間の調整で右上3本を調整し過ぎたため。高さ調整で低くなってしまったことと、　なかなか治療が進まないので今後どうするかを相談にのっていただきました。大学病院の優秀な先生を紹介すると仰っていただきましたが、正直大学病院は遠いので毎週通うのと、急なトラブルがあった時、すぐに診ていただけないと心配なので、半年以上診ていただいて、私の歯をわかっていただいているＳ先生に、最後のチャレンジで、Ｓ先生にもう一度、引き続き治療をしていただくことになりました。もし、途中で今までと同じようなことが起きるようならば、諦めて、その時点で、大学病院を紹介していただくことになりました

相談の結果、もう一度、再度右上3本やり直し、今度は右上4本を仮歯にすることになりました。

　　　　　　 治療を始めて半年経つが、また1からやり直しです。最後にＳ先生が治せることに期待したいと思います。

11月9日　現在、咬合崩壊治療を始めて半年以上経ちますが、上記の経過のように、最初にふりだしの状態で良いことは１つもありません。苦しい状態が続いております。

　　　　　　 今回で右上奥歯3本を仮歯にするのは3回、銀歯1回の計4回。

　　　　　　 右下奥歯5本は仮歯2回、銀歯1回の計3回　チャレンジするが、前に進まず。

　　　　　　 本当に難しい治療だと思います。

今も右上奥4本・右下5本の仮歯状態

　　　　　　 当然、左側には一切進めずの状態です。

　　　　　　 今の先生も話をよく聞いていただき、一緒に考えてくれて、丁寧に治療をしていただいています。

しかし、この治療は本当に難しい治療で、先生も良かれと思って、やったことも、私にとってはマイナスな結果になってしまうようです。正直どこの、どの先生がちゃんと治せるか？本当に咬合崩壊は治るのか？凄く不安です。

ゴールの見えない地獄の迷路に入ってしまったようで、歯と顎の痛みと痛み止めの服用による胃痛、精神的ストレスで、いまだ１％も良くなっていないのが現実です。もう7年ぐらい毎週、歯医者さんに咬合調整で 、虫歯で痛いわけでもないのに、自分に合った歯の高さが1本も入っていないのと、いつまでこの苦痛治療が続いて、いつ苦痛が終わるのか？

歯の痛み・顎の痛み・痛み止めによる胃痛・寝不足・精神的苦痛・不安がいつまで続くのか・・・。

心が折れてしまいそうになる時もあります。

本当に苦しい日々が続いています。

11月14日　右上奥歯銀歯2本が低くなってしまったため、右下一番奥を白いプラスチックＣＲ？で先生が高くしてもらう。その場では凄く高くなった気がしたが、時間が経つにつれて違和感なし。というか、こんな簡単に

　　　　　　元の高さに戻るはずがないと思いました。そして、今入っていない右上4番・5番の仮歯の型をとりました。

　　　　　　まだ、奥歯が引くいし、顎が下がっている状態なのに大丈夫なのか？不安が続く。

　　　　　　もうそろそろ、この先生も限界かもしれない。今まで言っていたことと、違うことをやっている。

　　　　　　・歯を新しく入れて違和感があったら、その歯だけを調整しなければならない。この時他の歯をいじるからおかしくなって、このようなことになると、悪く言っていたのに、今では私に確認せずに安定していた右上奥6番・7番を削って低くなってしまった。

　　　　　　・以前は保険の歯にして、その歯で落ち着いたら自費の歯にしたいと言ったことがあったが、その時は、絶対にそれはやめた方が良い！また外すと土台を削るリスクがあるから、絶対にやめた方が良い！と

　　　　　　言っていたのに、今回自分が低くしてしまった歯は、外しても大丈夫！という。土台が金属だから！

　　　　　　って。その場しのぎの言い訳が多くなってきてきた。8か月経つが、一向に良くならない。

　　　　　　本当に全然直らない！治せる歯医者さんはいるのか？　しんどい。気が付けば今日も、仕事をせずに、インターネットで歯医者探しばかりしてしまっている。

11月14日　　仮歯６４８０円

11月21日　右上仮歯状態でまた、次回右下の仮歯をやり直すと説明をうける。3回目になる。今だに全く進まず。前歯が痛い。

　　　　　　左が全く当たっていないため、傾いていて、左の上下4番目が食事の後、痛い。折れそうな感じで怖い。

11月28日　右下5本の仮歯の型をとる。これで右下の仮歯は3回目になる。

12月5日　右下5本の仮歯が出来上がってくるが、全く合っていないらしく装着できず、再度型どりして、やり直しするとのこと。今回の仮歯で無理なら、Ｓ先生の治療は諦めると伝える。

　　　　　　仮歯９７２０円

12月12日　仮歯右下５本が入る。今回初めて高めの仮歯が入る。しかし、左は当然更に全く当たっていないので、これで左側の治療に行っていいのか自分自身わからない。左側は神経が残っている歯が多いので、失敗が怖い。このまま治療を続けていいのか？悩む。Ｓ先生に相談する。「確かに難しい治療だとのこと」先生の思うように技工士さんが作れない感じもありました。「1回の治療をじっくり診てくれる昭和大学病院の補綴科なら、絶対治せる！」と勧めてくれました。

【昭和大学病院で診ていただくことになる】

12月13日　1日悩みＳ先生大田区にある昭和歯科大学の補綴を紹介していただきました。その足で、昭和歯科大学の補綴に行きました。

　　　　　　補綴科の先生にこれまでの、話をしました。

　　　　　　先生は「やはり、最初に交換して合わなかった右上５・６・７番が原因でしょうね！

　　　　　　本来は仮歯、又は仮止めにして少し様子をみてから、ちゃんと着ければ何の問題も起きないのですよ！

　　　　　　その先生が様子をみないで着けてしまったから、もう削るしかなかったのですね！そして、その歯だけに起きている問題なのに、他の歯を削ったら、必ず、こうなりますよ！次から次へと当たるところが、変わってくるのは当然です！」また「西村さんのように、前の歯医者に削られ過ぎて咬合崩壊してしまった患者さんは、意外とたくさん来られていますよ！そのほとんどが、西村さんと同じで、歯を交換した時がきっかけで、その歯医者さんが他の歯を削って調整をしてしまい、どんどん他の歯が強く当たり、泥沼に落ちていくようになってしまうことがあります。」とのことでした。

　　　　　　そして今の状態をみて、この右側上下の着いている仮歯をみて、「決してこのやり方が間違っているわけではないが、片方でしか咬めてないから、これじゃあ自分でも、辛いし噛み合わせわからないでしょ？　左右両方仮歯にして高くして両方で噛んでいけるようにしていきます」とのことでした。

　　　　　　そして、その先生は補綴科の中でも、若い医師ではなく、ベテランで今まで、同じようなケースをたくさん治療してきた先生を連れてきて2人診てくれました。

そのベテランの先生は「寝ている時下顎が下に落ちない？上の歯と下の歯が離れて思い切り出歯にならない？　奥歯が低くなってしまっているからですよ！」と私が長年苦しんでいたことをこちらから言わなくても当ててくれました。右上５・６・７の治療が始まってから、私は横になると色んな歯が強く当たって痛くなると太田先生には言い続けてきましたが、太田先生の答えは、「必ず落ち着くところがある！」その都度その場所を太田先生はどんどん削っていましたが、顎が下がることにより歯のあたるポイントが変わるので痛くなる！顎に位置を戻さなければならない！ということでした。「実際に先週治療を続けていた女性の患者さんが、同じ症状で横になると今まで、下顎が落ちていたのが、治りましたよ。」とのことでした。「なので次回から両方の歯を高くしていく治療になる」とのことでした。